

## 校区の概要

### 1 校区の概況

J R 播但線長谷駅西 700m、市川とその支流犬見川沿いの周囲 700m級の山々に囲まれた谷間に開けた世帯数 326、人口 940人（平成24年3月末調べ）の山村で、夏は大変涼しく、冬は日照時間が短く寒気が厳しい。校区の大部分は、郡内或いは姫路方面に職域をもつ兼業農家である。近年は共働きの家庭が多く、また住民の高齢化も進み、過疎化の傾向にある。

昭和58年からの関西電力揚水発電所建設（平成7年8月完成）に伴い道路の拡張・新設など周辺道路網が整備され、地域の様子も一変した。

また、平成24年4月には、川上小学校が統合し、校区も更に広がり、地区の児童はバスで通学している。

#### ・世帯数及び児童数

地区名	川上	大川原	本村	赤田	重行	為信	峠	栗	淵	合計
世帯数	78	28	63	29	17	22	9	67	13	326
児童数	6	0	15	0	2	1	1	7	0	32

(H26. 4. 1現在)

### 2. 校区の特色

山と川の美しい自然に囲まれた山間集落で、永年にわたって培われてきた純朴・勤勉という農村の美風は今も校区の人々によって受け継がれている。子女の教育に対する関心は強く、学校に対する協力も積極的で家庭教育にも熱心な家庭が多い。

P T A活動は、校区を4地区に分け、それぞれから役員を選出し、活動にあたっている。P T A独自の目的を達成できるよう、学校と密接な連携を保ちながら活発に活動している。

地域は学校に対して協力的であり、放課後子ども教室ボランティアにも多数の参加がある。また、運動会などは地域の人々や団体と学校が一緒になって行うなど密接に連携している。